

外国人介護福祉士候補者の 【国試対策情報】

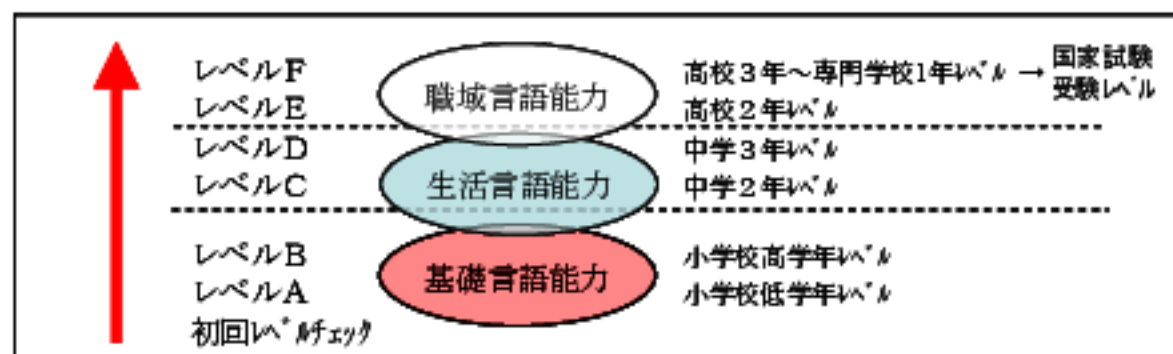
月報 第13号

【今から確実に、国家試験受験能力を養い、合格する計画を】

- 国家試験合格を目指すには、その前に、国家試験受験能力を身につけなくてはなりません。
【受験能力】とは、言語能力の到達度によって決定されるものです。
2014年1月に受験する人は、今から約1年後に受験するわけですから、その期間を計画的に使って、十分な受験能力を養う時間があります。しかしながら、無計画な、そして、闇雲な「マークシート方式の国家試験過去問題学習」だけをしていては、今年1月に行われた国家試験合格者数36人という、非常に低い合格率に留まってしまいます。
- 事業団が定期的に行っている模擬試験の結果を信じて、合格圏内にあると思っていた受験者が多くいました。しかし、合格発表後では、事業団の模擬試験の成績順位は、多くの施設から「信じられない」し、「今後は信用しない」などの意見が多数当会に寄せられています。このことは、事業団の教育方針に問題があり、施設からの信頼がなくなったと言えます。
- このような状態を二度と起こさないためには、人間の能力に合わせた【言語技能】を確実に身につける学習方法を取らない限り、国家試験問題を読みこなして、適正な答えを選択する能力は決して、一朝一夜で養われるものではありません。
- 即ち、何事も「ゴールを目指すためには、周到な計画を基に進む」ことが、いかに重要なことであるかが分かります。一般的な常識人であれば、誰しもが気付く「当たり前のこと」であるにも関わらず、残念ながら、政府をはじめ関係諸団体は、言語能力のない外国人受験者に対して、まるで、日本人の大学受験予備校で行われるような試験対策のみに追従していることは、専門的な日本語教育者からすると、「全くの愚策を信じて行っている集団」としか言えず、ただただ、具体的にどうしたら良いかが分からずに、右往左往している状況が読み取れます。
- このことを避けるためには、今から【計画的で、体系的な学習計画を作成して、それに基づき、無理なく、着実に国家試験受験能力を養う】ことが重要で、【教育は科学なり】という原点から、「大局的に観て、総合的に考え、体系的に創り、継続的に行う」ことが肝要なことです。

★★★ 下図は人間が言葉を習得する段階を示したものです。

この段階を無視して当初から過去問題を教材に学習したとしても、何ら教育効果が上がるものではありません。このことを念頭において、合格に向けた学習計画を作る必要があります。



＜施設の声＞

- その 1.** 毎月送られてくる月報を回覧するようになって、職員皆の意識が変わりました。来年の学習指導には、御社の試験制度を取り入れていきたいです。(愛知県・I施設)
- その 2.** 事業団以外の模擬試験を受けさせても、簡単な問題しか解けていないので一つずつ解説を加えながら職員が指導をしています。受験者は日本語が難しいと言っています。本番の試験では、問題全てに振り仮名を振られているものと、そうでないものを選べますが、全部に振られているほうが分かりやすいようです。日本人の考えでは読みにくいのではないかとと思いますが、受験者は日頃の勉強時でも振り仮名を全部つけているため、日本人とはやはり違うんだなと思いました。しかし、読めても言葉の意味が分からないと解けないので難しさには変わりないですね。(千葉県・O施設)
- その 3.** 県や市の研修に参加したり、職員が指導しています。二名中、一名は既に学習する気が薄れています。漢字に振り仮名を振られても、読めるけれど言葉の意味理解ができないので、結局、読解ができずに問題が解けない状態です。このような状態では、時間延長をしても意味がないと感じています。施設同士が集まる場で色々とお話を聴きますが、どこの施設も悩みどころは同じようですね。(神奈川県・K施設)
- その 4.** 受験日まであと残りわずかになってきて、ようやく、受験勉強に前向きに取り組むようになってきたようです。事業団の巡回訪問の人とも、今後の学習方法について詳しく話しができましたが、抽象的な話なので落胆しました。(栃木県・H施設)

注目

2014年、15年度「国家試験受験者」対象 <10分間テスト(無料)> 実施中!

受験者の「受験能力」はどの程度あるのか? 日頃の指導がどれだけ身についているのか? 疑問を持ったことはありませんか?

確実に「合格」を目指すのなら、受験者の「会話力」だけで判断せずに、読解力を養って下さい。そのためには、プロの診断を受けることが大切です。

★★「8つの言語技能」に分けて細かく分析し、考察を返却後、「教育相談」も実施しています。

<テストを体験した施設職員の声>

- 1、言語能力を細かく考察して頂くことが初めてだったので、とても参考になりました。日本語教師に指導を依頼していましたが、受験者がこれからは自分だけで勉強をするという気持ちに変わったので、今までの教師は断りました。考察のご指摘は的を得ていて「その通り」だと思いました。受験者も改めて日本語の難しさと、日本語の基礎学習の大切さを実感していました。(岐阜県)
- 2、受験者は日常の会話もままならず、助詞の使い方も間違いが多く、当初から心配していましたが、このテストを受けてみて、日頃から気になっていたことが全て明らかになりました。予想通りの結果で、今後の指導を改める必要があることを教えていただきました。このテストを早い時期に受けたので、今後の学習方針が定まりました。試験制度を参考に指導を考えたいです。(大阪府) ※ 60分間の試験(有料)は、「10言語技能」からより詳しく分析・考察します。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】

※ 【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い諸技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は、平成 24 年 3 月に発表された外国人介護福祉士国家試験合格者発表で明確に立証されました。 その内容では、受験者数 95 名中 36 名が合格し、その 36 名中 19 名（52.7%）が、この受験能力到達度試験を受けた受験者でした。

※ 本試験は、国家試験に対する受験テクニックや言葉の暗記を重視したものではなく、あくまでも専門領域で働く人間として必要な言語能力を養うことを重要視した学習方法です。 さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、病院や介護施設などで実践力のある要員として育成することを目的としています。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	合格 職域言語能力を養う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生活言語能力を養う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力 など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基礎言語能力を養う
B段階	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回	75 %	受験者の現状の日本語能力を観る。		

【国家試験受験能力到達度試験】ご参加のおすすめ

【国家試験受験能力到達度試験】は、外国人国家試験受験者を対象とした【言語能力】を段階的に判定できる試験です。第一段階では＜基礎言語能力＞を観る初回レベル～Dレベルまでで、第二段階では＜国家試験受験能力＞を観るEレベルとFレベルです。そして、第三段階では＜国家試験合格能力＞を観る国試1レベル～3レベルの三部構成で実施しています。

- 1、受験者には試験結果に基づき、考察票（言語能力到達度）にあわせて学習指導をしますので、担当者が客観的な「考察票評価」に基づいて現状を把握することができます。
さらに、担当者が考察票の指導方法に基づいて具体的な学習指導ができるために、その結果、受験者の言語能力が向上します。
- 2、言語能力の到達度チェックは、2ヶ月単位に到達度数値を見ることが大切です。
常に、受験者の言語能力の変化を定期的に観ることで、国家試験受験能力の向上を促すことができます。今後、受験勉強と同時に、職域での実践力がある人材育成を目指すことが重要です。
そのためにも、【国家試験受験能力到達度試験】を受けることをおすすめします。
- 3、受験対策は、国家試験過去問題だけに偏ることなく、過去問題以上の難易度の高い試験問題に対応できる能力を養うことが、国家試験合格率を高めることとなります。この理由から、本試験のEレベル～国試3レベルまでは、国家試験問題よりも高度な問題作成となっていますので、必然的に合格率の可能性が高まるように作られています。
- 4、最も大切な言語能力は、日本語の基礎言語能力（初回～Dレベル）です。この段階の到達度が目標数値（月報13号P3参照）を越えれば、国家試験受験能力はほぼ達成できるように作られています。

【国家試験受験能力到達度】チェックと【教材】申し込み書 <送付先：FAX 03-6677-0632>

施設名：	ご担当者名：		
所在地：〒			
電話：	FAX：		
メールアドレス：			
受験者名：	国名：	受験人数：	名
<単発受験> ※ ご希望の受験形態に□「レ点」を記入願います。下記の料金は受験者1名あたりの金額です。 ※ 各受験段階で1回あたり @15,000 円 × 名 合計金額 円			
<継続受験> □ 初回から全10回（教材費込み） 140,030 円 × 名 合計金額 円			

★ 教材のおすすめ（詳細は月報13号P5参照）下記の教材は、受験者が自分で日本語の【規則性と用法・運用能力】を養うことができる自学教材です。特に、国家試験問題に対して必要な「読解力」が養えます。

※ ご希望の教材の冊数を（ ）内に必ず、ご記入下さい。			
100万人の日本語No.1（ ）	ひらがなかーど（ ）	漢字の一と1（ ）	
100万人の日本語No.2（ ）	ひらがなの一と（ ）	漢字の一と2（ ）	
100万人の日本語No.3（ ）	カタカナノート（ ）		
お申込書が届きましたら、一週間以内に教材をお届け致します。教材到着後、三日以内に同封しているお振込み先にお支払い下さい。送料は着払いにさせていただきます。			
ことばの研究社 〒164-0002 中野区上高田3-2-13 石田ビル303			
電話：03-6317-6009 FAX：03-6677-0632 メール：kotoba_ken@yahoo.co.jp			

《 学習者が勉強したくなる！ 楽しく・分かりやすい専門教材 》

【教材の特徴】 ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる

【基礎言語能力レベルⅠ】 ③ 漢字も頻りに読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

日本語の基礎知識を身近な事例で、分かりやすい文で書かれており、特に「だれが・なにを・どこで・いつ・どうする」を使って、「規則性とその用法」が学べ、自在に会話力がつくような内容になっています。

※ 習得漢字数 310字～620字
※ 習得語彙数 520語～1,560語



【漢字のーと(1)】

□
『100万人の日本語No.1』に沿った構成となっており、「文型・文の作り方」を習得しながら、効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。
非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適です。
また、中国人学習者にも同様です。



【ひらがなのーと】

□
ひらがな文字の習得に最適な教材です。字形や書き順練習だけでなく、日本語の基礎となる「質問と答え」の仕方に絶対必要な発音方法が学べます。
身近な事例を使って学習でき、社会生活に必要な語彙も同時に学べ使える教材です。



【ひらがなカード】

□
表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれて、裏面にその文字を使った語のイラストが色鮮やかに描かれています。
イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら、自学できるつくりになっています。
基礎教育の日本語学習に最適な内容になっています。

【基礎言語能力レベルⅡ】



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

□
会社や学校、家庭内など場面における会話文を中心に構成され、社会生活に必要な語彙を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。
さらに、本テキストを終了すると、「自分の思いや考え方」を意志表現できる能力が身につくように作られています。各ページで、日本語のあらゆる規則性と用法が自学できます。

※ 習得漢字数 420字～840字
※ 習得語彙数 570語～1,710語



【漢字ノート(2)】

□
『100万人の日本語No.2』に沿った内容で、漢字習得と文の作成練習だけでなく、文書に対する読解力も、同時に養えるように作られています。
漢字の「へん・つくり」の付録もあり、「漢字の成り立ち」に対する理解が、できる内容となっています。
非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適です。また、中国人には、日本の漢字を理解させる特徴があります。

【レベルⅠとレベルⅡの違い】

レベルⅠは、日本語を学ぶ上で重要な「規則性と用法」を学習して、【聞く・話す・読む・書く】を基本とし、日本人と同等の力を養うことができる能力を育てます。
レベルⅡは、会話文を中心に「思いや考え」を日本語で表現できる能力を養います。



【カタカナノート】

□
カタカナ語を使った場面を教えるイラストが各ページにあります。
このノートは、説明文と会話文が繰り返し使われて作られています。
場面を紹介する文は、外国語の理解と、その習得練習をしながら、練習問題によって、読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

【生活言語能力レベルⅢ】



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

□
テキストNO1とNO2とは違い、NO3では職場での日本語力が発揮できるように、限られた登場人物の日常的な生活と仕事を通して、「日本語の使い方(運用)」力が養えるように作られています。
そして、登場人物を通じて、会社での習慣や礼儀作法なども合わせて理解できることが特徴です。

※ 習得漢字数 850字～1,200字
※ 習得語彙数 1,110語～3,330語

【レベルⅢの特徴】

日本独特な表現、特に「語感」を習得し、人間関係を考慮した専門領域での日常会話ができる能力を高め、職場での意思伝達ができるようになります。語の種類と文の種類を使い分けながら、要約する能力を養うことで、職場での報告書やレポートが書ける能力が身につけられます。
また、日本事情の知識も得られるのが特徴です。

学習段階	教材一覧	価格
レベルⅠ	「ひらがなカード」	¥ 1,050
	「100万人の日本語No.1」	¥ 2,550
	「ひらがなのーと」	¥ 1,800
	「漢字のーと 1」	¥ 1,360
レベルⅡ	「100万人の日本語No.2」	¥ 2,550
	「カタカナノート」	¥ 1,360
レベルⅢ	「漢字のーと 2」	¥ 1,360
	「100万人の日本語No.3」	¥ 3,000
※ 送料は別途		